

# ジュニア科学クラブ 12



## オリオン座の立体星図を作ろう！

### オリオン座は、どんな形？

みなさんは、夜空でオリオン座を見たことはありますか？そろそろ見ごろをむかえる冬の星座の代表で、ギリシア神話の狩人オリオンが描かれています。

オリオン座には明るい一等星が2つ、二等星は5つもあって、大阪のような都会の空でもよく目立ちます。これらの星をつないだ形は、よくリボンとか砂時計の形に似ているといわれます。でも本当は、地球から星までの距離はそれぞれ違って、立体的に分布しています。オリオン座の星だけでなく夜空に輝く星は、みんな宇宙空間に立体的に広がって分布しています。

オリオン座の星々をつないだ星座の形  
リボン、砂時計、蝶々が羽を広げた形などに  
例えられる。

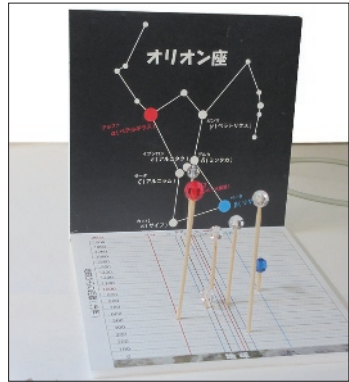


2021年12月19日夜9時ごろの東の空(大阪)  
この日は、冬の大三角の近くに満月が見える。



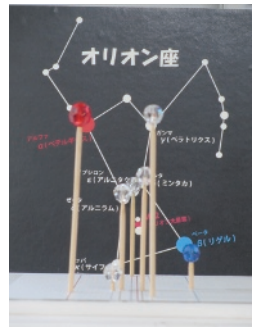
## 立体星図を作ってみよう！

では、もし地球から宇宙にとびだして、オリオン座の星々を見ると、どんな風に見えるのでしょうか？今回のクラブでは、オリオン座の立体星図(右写真)を作って、星々が宇宙空間にどんなふうに広がっているのかを見ていきます。この立体星図キットでは、星に見立てたビーズを付けた竹串を、地球からの距離に合わせて台紙にさしていきます。



オリオン座の立体星図

完成した立体星図を地球(真正面)から見ると、見なれたオリオン座の形をしています。では、地球以外(上や左右)からながめたら、一体どのような形に見えるのでしょうか？オリオン座の立体星図を作って、それぞれの星までの距離や、宇宙の奥行きおくゆを実感してみましょう。



地球(真正面)から見ると…

にしの あいこ(科学館学芸員)

## ■12月のクラブ(Zoom教室)■

12月19日(日) 10:00 ~ 11:00ごろ

12月のジュニア科学クラブは、9月、10月と同じように、「Zoom」を使って行います。オンライン上で、学芸員とジュニア科学クラブのみなさんが顔を合わせて、話を聞いたり、工作や実験を楽しみましょう！

◆用意するもの: はさみ、ものさし、黒サインペン、セロハンテープ、科学館から届いた材料(12月13日~15日頃におうちに届きます)

※Zoomが利用できる環境が必要です(通信料が多くなりますので、Wi-Fi環境でない方はご注意ください)。

※科学館での活動はありません。オンラインのみでの実施です。

※クラブ当日やZoomの接続など、詳しくは『ジュニア科学クラブ会員専用ページ』(会員手帳最後のページ参照)をご覧ください。

※変更等がある場合があります。最新の情報をご確認ください。